



塗人通信

☆トーションリフォームがお客様に贈る 新感覚のニュースレター☆

激旨ランチ 食べある日記 ムール・アラ・ムール

伊勢原市にある人気のパン屋さん「ムール・アラ・ムール」をご紹介します。

こじんまりとした小さなお店ですが、店舗前に3台分ほど駐車場がありますので車で来店もOKです。

横浜ナンバーや品川ナンバーなど遠いエリアからの車も停まっているのを見かけますので、遠方からの来店も多いようです。

それもそのはず、ここのパンは相当にレベルが高いです。

私はやや硬めのパンが好きなのですが、ここのハード系のパンは、歯ごたえがありながら、しっとりとしていて、口の中ではほどける感じ。

行くと必ず買うのはバゲットです。朝食用のはずが、あまりに良い香りがするので、帰りの車内で半分くらいは食べてしまいます(^-^);



住所 伊勢原市板戸
645-5
電話 0463-57-3085
ランチ予算
500円～1000円
おすすめメニュー
バゲット ノアレザン

古書探究

名のないシシャ 著・山田悠介

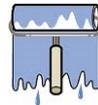
この本は、工事をさせて頂いたお宅の10代の息子さんからお勧めを頂いた本です。若者に人気のある作家さんのようで、名前は知っていましたが、作品を読むのは初めてでした。

「シシャ」は「死者」ではなく意味的には「使者」です。シシャは子供の姿をしているが人間ではない。

傷みも空腹も感じない。シシャには人の寿命が見えていて、自分の寿命を分け与える事が出来る。しかし、3年分の寿命を与えると消滅してしまう。

ある日、初めて自分の寿命を与えても良いと思う人に出会うが…。

可愛いらしい表紙に騙されてしまいそうですが、命と時間をテーマにした深みのある作品でした。



塗装屋社長が雨漏りを考える 塗る事よりも大切な事 No.13



今回のテーマは「モルタル壁の窓周りのコーキング」です。外壁塗装をする目的は何でしょうか？私が考える主たる目的は、建物を長期的かつ健全な状態で維持をする事かと思えます。

では家を健全な状態で維持をする為に求められるのは何か？そうです、雨漏りをさせないことなんです。

前置きが長くなりましたが、雨漏りをさせない為の外壁塗装として、モルタル壁の塗装工事の際、一般的に行われている下地処理作業に、窓周りのコーキングというものがあります。

写真1の建物はモルタル外壁の建物です。庇の出がない為、外壁に多くの雨水がかかる事が推測されるので、防水性の向上の為に窓周りのコーキングは施工するべきかと思えます。その窓周りコーキング施工が効果的ではない施工方法が広く採用されています。

写真2の様に上側と両側面の端末にコーキングを施工する、上側三方施工というものです。

弊社は雨漏りの原因究明の為、散水調査を多く行っていますが、雨漏りが多く発生しているのは、写真3の様な窓の下側である事が多く、窓の上側や側面からの雨漏りは殆どありません。

つまり、防水性向上の為に、コーキング施工をする場合に、写真2、写真3、どちらかを片方のみに施工するとなれば、写真3の箇所に施工の方が有効だという事です。

多くの塗装店が行っている、上側三方施工では、最も大切な下側の処理がされませんので、あまり意味がないんですよ。

弊社の施工では念の為に4面全てにコーキングをしています。



写真・1



写真・2



写真・3



～風呂好きのナポレオン～

フランス革命の際、軍人として活躍し後に皇帝となった、フランスの英雄ナポレオン。

彼は、超早食いで、1日3時間睡眠だったそうです。あれほどの偉業を成し遂げる為にはそれだけ行動時間が必要だったのかもしれないね。



一方、風呂好きとしても有名だったそうで、1回2時間の入浴で、1日に何度も入浴する事もあったんだとか。

私の勝手な推測ではありますが、これって、湯船に浸かりながら昼寝してたって思うんですけど？(笑)

まあ、尋常じゃないから偉人と呼ばれているんでしょうから、凡人の私の愚考なんて何の意味もないんですけどね(笑)

現場の本音をぶっちゃけます！

～現役職人営業マン

田中彪の奔走日記～ 第3回



今月もよろしくお願ひ致します！

花粉症の時期がやってきましたね…。アレルギー体質なのか一年中花粉症と戦う僕ですが、やはり春が一番つらくて、くしゃみと鼻水の毎日です。

そんなタイミングですが、先日ドローンの免許を取得しました！右下の画像が免許取得証明書です。

ドローンがある事によって、今まで確認する事が困難だった、3階建てのお宅の屋根や、脆くて上を歩く事の出来なかった屋根もしっかりと確認ができるようになりました。

新しい技術を柔軟に取り入れて、更なるレベルアップに努めて参ります！



-塗人-てっちゃんこと社長の田中です



マイブームは「スモークチーズ」

最新の工事写真を更新しているホームページが大好評です。
過去の施工例も満載！
毎日たくさんのアクセスを
いただいております！
是非ご覧ください

塗人コラム ☆ペンキ屋社長のお仕事日記☆

No.45 「技術の継承」

塗料の技術が進歩した為、特別な技術がなくとも、ある一定のレベルまでの仕上げができるようになってきました。

しかし、これはごく一般的な塗装の話であって、やはり熟練の技術を要する作業も存在します。

写真1の様な木材の灰汁洗いもそのひとつです。

灰汁洗いとは、黒ずんでしまった木材を、新しい木材の様に生まれ変わらせる特殊な洗浄の事です。

この様な作業は今風の家には殆ど無いので、年に数回ある施工の機会に、熟練の職人と若い職人を一緒に作業をさせる事で、特殊な洗浄技術を継承し、後世に技術を継承する取り組みをしています。

写真2の様に外壁の一部が破損してしまっている様な場合も、高い技術を要します。

ただ塗料を塗るだけならば簡単でも、元通りに近く修復をするというのは、非常に難しいのです。

写真3の状態は、破壊されてしまった外壁をモルタルで成型した状態です。このままで色を塗るだけでは模様が復元されません。

写真4で、外壁の模様を復元し既存の外壁に色を合わせて塗装しました。

写真5が仕上がります。部分的に補修をしたのに、どこを直したのか判別が付きません。

この様な地味な作業にこそ、職人の力量の差が出るんですよ。



写真・1



写真・2



写真・3



写真・4



写真・5



神奈川県知事許可(般-30)第79168号

(株)トーシンリフォーム

相模原市南区下溝2078-9

TEL 0120-775-388

お見積り無料！お気軽にお問い合わせください！